

三年学年だより

No. 4

7 月号

令和 6 年 7 月 発行

303HR

7月になりました。県総体、模擬試験、期末考査と忙しい6月が終わって、一段落ついた気がします。みなさんはどうでしょうか。夏に向けて自分の生活を今一度振り返ってみましょう。

最近、3年生の様子を見てみると受験生に成り切れていないと感じる人も少しいる気がします。「何とかなるだろう」と考えている人、何ともなりませんよ。部活動を引退した人、今まで部活動に2時間程度取り組んでいたでしょうか。その時間を全て自分の学習の時間に使えていますか。土日は午前中から起きて活動していますか。ちなみに私の高校生活は、朝、始発の列車に乗って早く学校に着いて、1時間くらい勉強、帰りは終電（と言っても21時頃ですが）まで学校や図書館に必ず残って勉強していました。家に帰るとほとんど何もできないタイプでしたので、これが自分には合っていたように思えます。土日も積極的に勉強できる環境を求めて図書館に通っていました。中央高校は、完全下校が決められているので、夜遅くまで学校に残って……というわけにはいきませんが、自分の与えられた環境でできることを考えてみてください。

また、それと同時に情報収集も大事です。この前の模擬試験で、志望校をどこにしようか悩んでいる人を見かけました。ある程度決めていて、すらすら書いている人も多かったですが、そろそろ、大学入試に関して「細かい」情報を集めてほしいと思います。受験しようとしている大学はどこにあるのか、どのような方法の入試があるのか、試験科目は何なのか、配点は何点なのか、過去のデータでは何点で合格しているのかなど、注目してみましょう。例えば、総合型選抜入試では2学期に入るとかなり早めに出願することが多いです。あまり時間がありませんので、事前に調べておいて、担任の先生を中心に相談しておくことを勧めます。

いろいろ書きましたが、3年生の夏は今しかありません。努力を続けても成果が出ずに苦しむこともあると思います。いや、確実にあります。今一度、3年生としての心構えを確認してみてください。

(303HR担任)

「想像する力」は高校生にとって非常に重要です。まず、想像力は学業において大きな助けとなります。例えば、文学の授業では登場人物の気持ちや背景を想像することで、作品への理解が深まります。さらに、進路や将来のキャリアを考える際にも、自分の興味や適性を基に未来を描く力が求められます。

次に、想像力は人間関係やトラブル防止にも効果的です。他者の立場や感情を想像することで、無用な誤解や衝突を避けることができます。例えば、友人との対話において相手の気持ちを理解しようとする姿勢は、信頼関係を築く上で重要です。また、学校生活でのトラブルやいじめの予防にも、他者の視点に立つ想像力が役立ちます。

しかし、現代の高校生はデジタルデバイスに依存しがちで、想像力を使う機会が減少しているという問題があります。インターネットやSNSは便利ですが、情報を受け取るだけでなく、自分自身で考え、感じる時間を確保することが必要です。

最後に、想像力を養うためには、読書や創作活動、自然の中で過ごすことが効果的です。また、家族や友人とのディスカッション、そしてスポーツも、想像力を刺激する良い方法です。こうした活動を通じて、高校生は豊かな想像力を育み、学業や人間関係において成功し、トラブルを未然に防ぐことができます。想像する力は、現代社会で生き抜くための重要なスキルとなるのです。

(303HR副担任)